



園庭の木々の紅葉も終わり、毎日のように葉を落とし、すっかり冬の装いになりました。園庭では、3歳以上の子どもたちがマラソンを通して逞しい体と心を育てています。年度後半に入り、子どもたち一人一人が成長している姿が目に見えてわかるようになってきました。逞しい体をつくるためには、食事が重要になります。岩根保育園では、季節の野菜を中心に冷凍食品を一切使わずに調理しています。また、手間をかけて調理した給食を残さず食べてもらうために様々な工夫をしています。今月は、給食の様子を保育日誌からお伝えします。また、同じクラスの保育参加で給食の場面をご覧になった感想も合わせてお伝えします (園長)

《ちゅうりっぷ組》

今日の給食のメニューは、ナポリタン、チーズ、きゅうりのマヨネーズ和え。担当児のM、A、Hの分の給食を食べられる量を考えながらよそった。保育室で遊んでいる3人を呼びに行き、食べる支度をして「いただきます」をしてからそれぞれ食べ始めた。「チーズ! きゅうり!」と食べ物の名前を言ったり子ども同士で簡単な会話をしたりしながら楽しく食べていた。すると、Mが全部食べたお皿を私に見せてきて「ピカピカ!」と言い、嬉しそうにしていた。「すごいね! ピカピカだ!」と伝え、「おかわりする」と聞くと、大きくなすいた。おかわりできたMはとても嬉しそうに笑った。それを見ていたAとHも完食してお皿をピカピカにしたいと思ったのか、会話も減りもくもくと食べ始めた。少し経つと、AもHも「見て!」や「ピカピカ!」と、お皿を見せてくれた。私は3人全員が完食できたことが嬉しかったので、「今日は、みんなのお皿ピカピカだ。すごいね!」と伝え、改めて3人に完食できたお皿を見せると、満面の笑みで「ピカピカ」と言っていた。食べられる量を考えてよそうことによって完食する満足感を得ることができるのだと改めて思った。これからも楽しく食事ができるように心がけていきたい。

【保育参加の感想から】

3歳未満児クラスの保育参加は初めてでしたが、普段、家庭で見ることができない、お友達と遊んでいる様子や後片付けをしたりトイレに行ったりする様子を見て、我が子の成長を実感することができました。お昼ごはんをお友達と一緒に食べる姿はとても微笑ましい光景でした。楽しい時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

《たんぽぽ組》

給食のシチューに入れるエノキをほぐすことをお願いされたことを伝え、朝の延長保育の時間帯に登園してきた子どもたちがランチルームでほぐした。昨年、ちゅうりっぷ組の時に、シメジをほぐしたことのあるT、Y、Hは、とても上手にほぐすことができていた。Rは「こう?」と、保育者に確認しながらやっていて、ほぐすことができると、「見て!」と得意げに笑っていた。給食前の絵本の読み聞かせをする際に、朝早く登園した子たちが今日の給食のシチューに入れるエノキをほぐしてくれたことを話した。キノコが載っている図鑑を見せて、どのキノコをほぐしたか聞いてみると、Tが指差して「これだよ」と教えてくれた。普段、あまりシチューを食べないTもエノキを探し、見つけると、スプーンですくって食べていたので驚いた。自分たちがほぐしたエノキの入ったシチューは格別に美味しかったのだと思った。子どもたちの嬉しそうな表情をたくさん見ることができた。